

令和2年度 第2回 教科用図書東濃採択地区協議会 会議録

東濃採択地区協議会事務局

I 日 時 令和2年7月9日（木）9：00～16：45

II 場 所 恵那文化センター 集会室

III 出席者 委員35名中 33名出席

IV 議事要旨 【進行】東濃採択地区協議会 会長

1 会の成立確認及び開会

- ・委員35名中33名出席 → 協議会規約第11条の規定により、会の成立を確認。
- ・本日の協議会は、教科書採択の公正確保のため非公開とする。

2 会長あいさつ

- ・第1回協議会において承認された研究員が、綿密な調査研究を行い、その結果を調査研究結果として取りまとめ、本日報告いただく。
- ・主に中学校用教科用図書についての協議をし、小学校用教科書と合わせて選定していただく。
- ・研究員からの報告を参考にしながら、本会の主体的な協議により、本会の意思で採択原案を決定する。
- ・東濃地区の児童生徒にとって、最もふさわしい教科書の選定をお願いしたい。

3 経過報告

- ・5月27日から7月1日の間、各種目4回の研究員会を実施し、前回より12日間長く調査研究を行った。
- ・6月12日から25日にかけて、東濃地区内6会場で教科書展示会を開催した。
- ・本日の協議会は非公開だが、議事録等は9月1日以降、公開対象となる。
- ・協議員の構成は、各市より、教育長、教育委員の代表、教科用図書採択事務担当課長、小・中学校の校長、教員、学識経験者、保護者の7名ずつ計35名。

4 議 事

(1) 令和3年度使用中学校用教科用図書に係る調査研究結果の報告及び質疑応答・協議

- | |
|--|
| ・全種目について、研究員が「東濃採択地区基準に即した具体的な調査内容」と「調査研究結果（意見書）」をもとに報告を行った後、質疑応答・協議を実施した。 |
|--|

①【種目：国語】

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | 調査研究の結果により、三省堂、光村図書出版の2者が、東濃の子どもたちの実態に合っているようだ。 |
| 会 長 | 採決してよろしいか。 |
| 採 決 | <挙手多数により、 <u>光村図書出版</u> の教科用図書を選定> |
| 会 長 | 承認いただける方は拍手をお願いします。 |

委員 全員拍手

②【種目：書写】

- 委員 Q1 書写の教科書を見たときに、毛筆と硬筆があるが、硬筆の学習は学校ではどのように扱っているのか。また、書写は、1年間に何時間扱うのか、教えていただきたい。
- 研究員 A1 書写の時間数については、1年生は30時間。毛筆のあとに、硬筆の練習を行う流れになっている。東京書籍では、単元の最後14、15ページ「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の「生かそう」で、硬筆の学習を行う。また、24ページ「楷書のまとめ」のところで、硬筆を行うようになっている。教育出版でも18、19ページ、毛筆のあとに「生かそう」で硬筆練習が位置付けられている。このように、各者毛筆のあとに硬筆を扱う。
- 委員 よくわかった。
- 会長 採決してよろしいか。
- 採決 <挙手多数により、東京書籍の教科用図書を選定>
- 会長 承認いただける方は拍手をお願いします。
- 委員 全員拍手

③【種目：社会 地理】

- 委員 Q2 古い写真資料が載っているように思うが、その点は調査したか。
- 研究員 A2 資料の見やすさについては調査したが、資料の古さ、年代については調査していない。
- 委員 Q3 1 ヨーロッパ州のEU離脱問題や移民の増加等様々な新しい問題が出てきているが、最新情報がいかに盛り込まれているか、という点ではどうだったか。
- 2 1・2年で地歴を学習し、その上で公民分野の学習がある。地理と歴史の発行者が違っていると、生徒の学びやすさや教員の指導のしやすさという点で影響があるか。
- 委員 Q4 今の質問に関わって、全590の採択地区のうち340地区で地歴の教科書は発行者が違うものを使っている。最初から同じ発行者のものだとよいと考えたか、それとも、純粋に「地理の教科書として」の調査研究をしたか。
- 研究員 A3、4 1 どの教科書でも主に導入のところでSDGs等今日的課題について提示されていた。
- 2 純粋に、調査項目に沿って各教科書を調査研究した。どの教科書も単元をつらぬく課題をもって学習に向かうという流れを大切にしている。地理と歴史で発行者が違っているとどうかという点では、同一ありきでは考えていない。
- 委員 Q5 ICTコンテンツ リンク先まで調査研究したか。
- 研究員 A5 中身は確認した。どの発行者も使いやすい。
- 委員 事務局に。教科書内のデジタルコンテンツも調査の対象となっているか。

- Q6
事務局 デジタルコンテンツについては、発行者が内容を検討中のところもある。教科書の文面を中心に調査研修を進めた。
- A6
研究員 家庭学習で教科書を活用することを想定し、デジタルコンテンツが位置付いているかどうかについては調査した。
- A6
委員 陶磁器産業等、地域の産業という観点ではどうか。
- Q7
研究員 小学校では地域の産業を重視している。中学校では全体で見たときに1つのよさとしてとらえた。
- A7
委員 社会科は話題になる。地理では領土問題、歴史では、史実や表現の仕方等。教科書展示会でも市民の方から「社会」についての意見が多くあった。
- Q8
研究員 各者の違いをもう少し詳しく聞かせていただきたい。
- A8
研究員 領土問題については、研究員会で十分話し合った。帝国書院と日本文教出版はどちらも歴史的背景をとらえた丁寧な記述がされている。どの教科書も、尖閣諸島問題について適切に明記されていた。
- 委員 東京書籍と帝国書院は単元の流れが似ているが、帝国書院は調査項目1で、やや指示的であった。
- Q9
委員 東濃地区の特徴として、若年教師が多いこと、また、小規模で、学校に教科書専門は一人という学校が多くあることが挙げられる。調査項目4のところで、具体的事例はあるか。
- A9
研究員 日本文教出版は主体的な流れになっており、帝国書院はやや指示的であったところで差があった。
- 会長 採決してよろしいか。
- 採決 <全員一致により、東京書籍の教科用図書を選定>

④【種目：社会 地図】

- 委員 地図を用いた地理的分野を学ぶのに、学習の入り口になるのが索引である。
- Q10
研究員 索引に載せられている量と、ガイダンス内容について、各者の違いを教えてください。
- A10
研究員 用語、地名等、東京書籍は生徒が使いやすいと感じた。色分けの点で、帝国書院より見やすかった。
- 委員 帝国書院は大判で見やすい反面、生徒が扱うことを考えたとき、かばんに入れたり引き出しに入れたりという点で問題はないか。
- Q11
研究員 大きさは、東京書籍より帝国書院の方が大きいですが、A4で収まっているので問題ないと思う。重さは、東京書籍が564グラム、帝国書院は502グラムである。
- A11
委員 教科書は1冊1冊が重い。家庭学習との関わりもあるが、持ち運びすることを想定しているか。また、QRコードがついていて、教科書を家に持ち帰らないと見られないが、どのように考えているか。
- Q12
研究員 持ち帰った場合の大きさや重さについて、検討した。結果は先ほどの通りである。興味をもたせられるかどうかを重視している。家庭学習ありきではなく、地図を楽しめるかどうかという点が大切であると思う。
- A12
委員 免外で社会を教えている。授業中地図を使うことが多いのだが、地図帳内の資料についても考えているか。
- Q13
研究員 教科書の資料と地図帳を授業に応じて使い分けていく。

- A13 写真資料は、東京書籍は209、帝国書院は210掲載されている。鳥瞰図は、東京書籍は14、帝国書院は47である。地図としては帝国書院の方が優れていると考える。
- 委員 Q14 地図と考えればよいか、資料に重きをおくのか。
- 研究員 A14 地理の学習は、地図帳と教科書を併用して学習することを加味し、地図としての資料として見ていただければよいと考える。
- 会長 採決してよろしいか。
- 採決 <挙手多数により、帝国書院の教科用図書を選定>
- 会長 承認いただける方は拍手をお願いします。
- 委員 全員拍手

⑤【種目：社会 歴史】

- 委員 Q15 説明いただいた内容については僅差のようである。調査項目2-(2)の違いをもう少し詳しく聞かせていただきたい。
- 研究員 A15 単元の導入では、単元を貫く課題が設定されており、東濃の教員に合う構成となっている。また、まとめでは、東京書籍は多様なまとめ方ができるよう工夫されているのに対し、帝国書院は、統一のまとめ方が提示されている。生徒が自分で学んでいく工夫があり、一つの時代に沿って見ていく学び方ができる。単元で学んだことをどう生かしていくかを考えていく必要があると考える。
- 委員 Q16 まとめの部分で、東京書籍では「多様な学び」ができると説明があったが、もう少し詳しく説明していただきたい。
- 研究員 A16 スライドが一つの例である。これは樹形図だが、それぞれの章末でいろいろなまとめ方を紹介されている。
- 委員 Q17 調査項目の4のみ、教員側の立場で挙げてある。誰が教えても適切な指導評価ができる、いわゆる教えやすい教科書をよいとするのか、それとも若いからこそいろいろなことを試し、力をつけていくことができるものをよしとするのか、どちらが大切だと考えるのか。
- 研究員 A17 どちらもあると考える。教科書を使えば単元が見通せる。教科書にない資料も自分なりに工夫していくことも大切である。
- 事務局 A17 どちらも大切だと考える。東濃の特徴として若い先生が多くいることがあるが、指導者にとってやりやすければよいというばかりではない。一番大切なことは生徒に力をつけることである。
- 委員 Q18 調査項目4の2つ目の点は、生徒の立場ともいえる。岐阜県と東濃では、学びの意識、学習の状況に違いがあるのではないか。
- 研究員 A18 平成28、29年度の岐阜県の学習状況調査の結果、「地図や地球儀、統計、年表など各種の資料から必要な情報を集めて的確に読み取り、課題をつくったり、課題を追究したりする指導」が求められた。言い換えれば、岐阜県全体でそこが弱いと言える。
- 委員 Q19 明智光秀について表記が違う。微妙な違いをどう捉えるとよいか。
- 研究員 明らかになっていない点についてどのように解釈するかだと考える。わかっ

- A19 | ていないことが多いからこそ歴史の学びがおもしろいということを伝えたい。
「教科書にはこうやって書いてあるけど、こういう説もあるよ」と紹介する。
- 委員 Q20 | 家庭学習のところ（調査項目の2—（2））の説明で、東京書籍では多様なまとめ方ができるようになっているとあった。よくわかる生徒にはよいが、苦手な生徒にとっては、帝国書院のようにまとめ方が決まっている方がよいのではないか。帝国書院は、右端に年表がついている。歴史的背景を大切にしている素晴らしい。生徒のどこに焦点を当てるかでどちらの教科書がよいか変わってくる。非常に悩ましい。
- 研究員 A20 | 単元のまとめとしては、どの時代も同様に学習できるようになっている。歴史が得意でない子もまとめができるように、東京書籍も同じまとめ方も載せている。
- 委員 Q21 | 小6でも歴史を学ぶが、小6と中学校とでは大きな違いがあり、中学校では、世界の歴史を背景として日本史を学ぶ。通史として、どの教科書が学びやすいか、教えやすいか、研究員の感想を聞かせてほしい。
- 研究員 A21 | 社会の見方、考え方を使いながら思考力、判断力を育むという点では、差がある。通史の点ではどの発行者も差はあまりない。
- 会長 | 採決してよろしいか。
- 採決 | <挙手多数により、東京書籍の教科用図書を選定>
- 会長 | 承認いただける方は拍手をお願いします。
- 委員 | 全員拍手

⑥【種目：社会 公民】

- 委員 Q22 | 項目1で、「工夫が十分なされている」「工夫がよくされている」という語尾で区別されている。どのような根拠で区別されたのか。
- 研究員 A22 | どの教科書も工夫されているが、工夫の引き出しが多いか、また最適な工夫がされているか、で区別をした。
言語活動に関しては、どこもよかった。他とのつながりや配慮、工夫が「十分されている」、「よくされている」などの語尾で差をつけた。
- 会長 | 採決してよろしいか。
- 採決 | <挙手多数により、東京書籍の教科用図書を選定>
- 会長 | 承認いただける方は拍手をお願いします。
- 委員 | 全員拍手

⑦【種目：数学】

- 委員 Q23 | 比較説明が明確でよく分かった。
1 単元の最初の導入素材 すべての単元であるわけではないのではないかと。
2 大日本図書は全国的に見ると採用しているところは少ないが、そのあたりはどうか。他地域と差が出てしまうようなことはないか。
3 以前にも話題になったが、2年生の「連立方程式」で、加減法と代入法の順番が他者と違うが、問題はないか。
- 研究員 A23 | 1 すべてにあるわけではない。ただ、どの単元でも、単元をかけて意欲関心を高める構成になっている。
2 大日本図書のシェアは全国的には低い。今回の改訂で、素材の扱い方、配列構成、生徒が探求しやすいか、家庭で無理なく学習が進められるか、という点で大日本図書はよかった。2年生では図形の学習で初めて「証明」が出て

- いるが、大日本図書が一番丁寧であった。
- 3 連立方程式については、加減法でも代入法でもどちらが先でもよいと考える。授業者の意図や生徒の実態に沿って選択ができる。
- 委員 Q24 大日本図書では、素因数分解から始まっている。これは、中3からおりてきたものだが、単元の配列について、研究会で検討されたことがあれば教えていただきたい。また4-(2)については各者とも差はないようだ。家庭学習で教科書を利用することを考えたときにどうか。
- 研究員 A24 素因数分解は3年生からの移行で位置付いているが、「正の数、負の数」を学習する前に、自然数を扱うことは問題ないと考えた。また、デジタルコンテンツに関しては、啓林館が数や中身が豊富である。家庭で使えるのはどれぐらいあるかと考えたとき、ICTの環境について家庭に差があるため、紙ベースが大事だと考えた。家庭では、着目点が示されていたり、問題がたくさん載っていてその答え合わせが自分でできたりということが有効だと考える。
- 委員 Q25 GIGA スクール構想が加速化し、一人一台タブレットを活用しての個別最適化された学びが求められている。数学では発展的な学習も重要だと思うが、その点はどうか。
- 研究員 A25 デジタルコンテンツを活用するには、そのための指導が必要であり、充実した活動になるにはまだ時間がかかりそうである。
- 委員 Q26 系統性について、数学が苦手な生徒も段階的に進められるよう、丁寧な指導ができるように工夫されている。
- 研究員 A26 習熟度別少人数における学習のしやすさについてはどうか。
- 委員 Q26 数学が得意でない生徒にとってのよりどころで考えた場合、表記の丁寧さや題材の組み方が大切である。
- 会長 採決してよろしいか。
- 採決 <全員一致により、大日本図書の教科用図書を選定>

⑧【種目：理科】

- 委員 Q27 教科書サイズの違いがある。A4サイズのメリットはあるか。
- 研究員 A27 実験室で縦長で開けるところがよい。
- 委員 Q28 自然災害や地震等地学分野の扱いの比重はどうなっているか。見たところ東京書籍が詳しいように思うが、他はどうか。
- 研究員 A28 各者とも、災害や天気、環境問題等を理科教育ととらえている印象がある。調査項目の4-(2)について詳しく説明してほしい。
- 委員 Q29 学校図書は、学び方に関わるところをQRコードに求めている。東京書籍は書面に表されている。
- 研究員 A29 東濃地区は毎年の科学作品コンクールでもよい成績を修めており、理科の先生ががんばって指導していると感じている。生徒の主体性や科学的な見方・考え方の点からはどのように考えるか。
- 委員 Q29 問題解決の過程が構成に表れている。どんな手順で追究するとよいか、日常生活から課題を見つけ、見通しを持たせる展開になっており、学び方を身につけることができる。
- 委員 「化学変化とイオン」の単元で、東京書籍は分解から入っていく。学校図書は

Q30 化合から入っていく。生徒にとって分解から入るのは難しい。学校図書はよく考えられていると思った。配列の違いの意図等はどうか。

研究員 生徒の思考をつなぎやすい配列であるかと、理科室での使いやすさ、理科室
A30 を使用する学年が重ならないか、という点でも調査研究をした。

会 長 採択してよろしいか。

委 員 <挙手多数により、東京書籍の教科用図書を選定>

会 長 承認いただける方は拍手をお願いします。

委 員 全員拍手

⑨【種目：音楽】

委 員 中学校の音楽では、合唱指導に偏重しているという課題が聞こえてくる。4
Q31 領域はどのような配分で行っているのか。学習指導要領で指定されているか。

研究員 音楽は4つの領域がある。割合については学習指導要領に示されていない。
A31 各校が年間指導計画に基づいて、評価も考えながら齟齬なく行っていくという
ことである。各者から年間指導計画例が示されているが、分量は変わらない。

会 長 採択してよろしいか。

採 決 <全員一致により、教育芸術社の教科用図書を選定>

⑩【種目：器楽】

委 員 各学年の年間授業時数は限られている。扱っている和楽器等で違いがあると
Q32 思うが、東濃の実態はどうか。

研究員 東濃地区の和楽器の配備は、以下のようになっている。(恵那市と中津川市は、
A32 箏を市で所有。その他15校で所有。三味線は6校、尺八2校、篠笛2校、和太鼓4校)。どの楽器を扱うかは、指導する地域人材にもよる。地域の指導者と連携して指導にあたる。3年間を通して、一種類以上の和楽器を取り扱うこととなっている。各教科書とも十分に掲載されている。

委 員 音楽一般の方の教科書は教育芸術社である。他の領域とのかかわりを考えた
Q33 場合、器楽の教科書は一般の教科書と同じ方がよいか。

研究員 生徒の学習意欲を喚起する意味で、既習を生かすことはできる。「1年時に学
A33 習した『〇〇(曲名)』を今度は器楽でやってみようか」とか「1年時に聴いた鑑賞曲『〇〇(曲名)』を今度は創作で」等関連を図ることができると思う。

委 員 調査項目の4について、音楽では二次元コードのとらえが他教科とは違うよ
Q34 うに思う。技能を伴う教科については、家庭で技能を身に付けたりイメージを膨らませたりすることに活用することもできるがどうか。

研究員 二次元コードの中身について、教育出版は大変効果的で惹かれる素晴らしい
A34 動画資料が示されている。一方、教育芸術社は映像ではないが、写真や図がわかりやすく示されている。今後のことは分からないが、今回の調査研究では教科書のみを対象とした。

会 長 採択してよろしいか。

採 決 <全員一致により、教育芸術社の教科用図書を選定>

⑪【種目：美術】

委 員 専科が少なくなっていく中、題材をどのように扱っていくのか指導者の裁量
Q35 に任されている部分がある。経験の少ない指導者でも扱いやすいのは日本文教出版だと考える。領域の割合についてはどうだったか。

研究員 A35	表現と鑑賞の領域がある。教科書の構成では日本文教出版はバランスが良いと考える。
委員 Q36	教科書の存在は大きい。東濃の特色の一つである「焼き物」を題材に取り上げていることはよい。日本文教出版の53ページの方は妻木在住の方である。生徒に芸術の世界に触れさせたい、東濃の特色を生かすという点ではどうか。
研究員 A36	東濃の特性は二つある。一つは学校の規模が小さく、美術科の専科が少ないこと。二つ目は、地域素材として、粘土題材を比較的多く扱っているということである。開隆堂は、作家の作品が多く紹介されているのに対し、日本文教出版は、生徒作品が大きく掲載され、生徒作品でもって創作の見通しをもたせるようにしてある。親しみやすさも感じるだろう。また、巻末には釉薬の扱い等も丁寧にしてある。東濃の二つの特色から鑑み、調査研究をした。
委員	恵那市も小規模であり、中学校8校中2校以外は専門の教員がおらず、非常勤講師が指導している。一年間見通しをもち、生徒がやりがいのある教科であってほしい。
会長	採択してよろしいか。
採決	<全員一致により、 <u>日本文教出版</u> の教科用図書を選定>

⑫【種目：保健体育】

委員 Q37	体育編についてもう少し説明してほしい。
研究員 A37	各者ともわかりやすく図表でまとめてあり、経験が少ない教員や免許外の教員にも扱いやすいと感じた。また、オリンピックを通して、スポーツとの関わり、スポーツを「見る」、「支える」という部分がよく配慮されている。
委員 Q38	保健領域では、養護教諭や栄養教諭と協力して授業していくこともあると思うが、どうか。
研究員 A38	協力して授業を行うこともあるので、生徒の思考の流れに沿った学習の流れが大切である。
会長	採択してよろしいか。
採決	<賛成多数により、 <u>東京書籍</u> の教科用図書を選定>
会長	承認いただける方は拍手をお願いします。
委員	全員拍手

⑬【種目：技術】

委員 Q39	東京書籍について、もう少し詳しく教えていただきたい。
研究員 A39	「問題解決カード」が使いやすい。身の回りのところから課題を見つけている点は、生徒にとって表現が分かりやすい。書き込みができるのもよい。
会長	採択してよろしいか。
採決	<全員一致により、 <u>東京書籍</u> の教科用図書を選定>

⑭【種目：家庭】

委員 Q40	東京書籍と開隆堂について、具体的に考えたい。
研究員 A40	開隆堂は、導入の写真で課題意識を持たせるページが多い。お弁当のページにから揚げ弁当が載っていることや、洗濯のページで「この学生服は家庭で水

洗いできるでしょうか。」など、生徒の意欲を促す。

東京書籍では、ハンバーグづくりのページで、「中火で何分」など、具体的にわかりやすく示してある。教材研究に時間がかかる内容でも、初めて教師になった若い教員や専門外で家庭科を教える教員にとっても授業を行いやすい。これは東濃の実態に合っている。

委員 Q41 学校で学んだことを家庭で生かそうということや、逆に家での経験や実践から「一人で生きていけるか」という点はどうか。

研究員 配置が大きく違う。

A41 東京書籍は、まずは自分でできることから始まり、力をしっかり付ける。次に家庭に広げ、さらに周りに広げていくように、時間軸と空間軸で考えた配置がなされている。

委員 Q42 ハンバーグづくりについてよくわかったが、マニュアル通りより、失敗を経験しながら学ぶのではないか。

研究員 限られた時間の中での授業を行う。時間があれば、そのようにもできる。ねらいに基づいて行う。

委員 Q43 開隆堂では食事のマナー、左利きの箸の持ち方が載っていた。男の子が料理をしている。東京書籍では、男の子がアイロンをかけている。様々な立場の人を大事にしていると感じる。

研究員 A43 東京書籍にも、左利きのはさみの使い方が載っている。「住まいを考える」では、「～の場合」というように、多様に考えることができる。

委員 Q44 東濃の事態に合っているのが東京書籍だと思うが、小学校は開隆堂を使用している。系統性について問題はないか。

研究員 A44 系統性については、どちらも配慮されている。開隆堂の小学校の教科書には評価チェック項目があるが、中学校の開隆堂の教科書にはなかった。

会長 採択してよろしいか。

採決 <全員一致により、東京書籍の教科用図書を選定>

⑮【種目：英語】

委員 Q45 題材の魅力や、小学校とのつながりについて、全ての会社の教科書を調査研究してどんな印象を受けたか教えていただきたい。小学校は東京書籍だが、小学校と同じ会社の教科書を選択することにメリットはあるか。もう少し詳しく教えていただきたい。

研究員 A45 東京書籍には、1年生の教科書ユニットの part 1、2、3のはじめに、**enjoy communication** があり、小学校で行った内容が載っている。また、巻末に小学校の単語が示されている。これは、中2、3年生にもある。

委員 Q46 光村図書出版には特徴がある。

研究員 A46 光村図書出版には、題材でよいものがあつた。

委員 Q47 学習指導要領では、3学年が一体となっている。現在は三省堂を使っている。仮に発行者が変わったとしても、原則としては全学年が変わった教科書を使うこととなる。しかし、例外として2、3年生は今までのものを使用してよいとのことである。もし発行者が変わった場合はどうか。

研究員 A47 今回の改訂で、内容が大きく変わっている。単語でも、これまでは1200語であつたが1600～1800語となっている。これまで使用していた三省堂でも、中

3で学習していた現在完了形は2年生に、中2で学習していた受動形が3年生に学習することとなっている。東京書籍は今までの配列通りである。

委員 項目2について、よさは何か。

Q48

研究員 東京書籍の unit activity 「守りたい動物たち」を学んだ後、家で違う動物についても学べるなど、授業をもとに自主的な学びができるように配慮されている。

会長 採択してよろしいか。

採決 <全員一致により、東京書籍の教科用図書を選定>

会長 原則通り、全学年が東京書籍を使用するというのでよろしいか。承認される方は拍手をお願いします。

委員 全員拍手。

⑩【種目：道徳】

委員 今日的な課題については、どのようになっているか。また、東京書籍には杉原千畝についての掲載があった。地域に関することは他にもあるか。

研究員 今日的な課題については年間の適切な位置付けがある。例えば情報モラルについては、夏休み前後の7月、9月にある。また、地域の文化も位置付けており、東京書籍には串原、日本文教出版には郡上踊りが載っている。

委員 求められている「考え、議論する道徳」の課題として、導入を短くすることが考えられるが、資料理解の段階で分からなくなる生徒は出ないか。日本文教出版には5ページにわたる資料も載っているがどうか。

研究員 文章量についても着目した。東京書籍には、文章を短くする努力があり、挿絵、イラストで内容をつかみやすい工夫があった。

委員 「足袋の季節」は、時代が古い。「50銭」「足袋」など、今と価値観が違う。それをどう考えるのか。

研究員 「足袋の季節」は、6者どの教科書でも扱っている。自己とのかかわりでとらえるので、登場人物の思いなど、資料で大切にすることをつかんでいく学習をする。

委員 発行者によって資料の扱い方が違う。資料は授業者の好みもあるがどうか。

Q52

研究員 「2通のかがみ」「シャープペンシル」など、生徒の心に響く資料が大切にされていた。

委員 「雁の季節」は、東京書籍では3年生、「弱さと向き合って」という価値。日本文教出版では2年生で「強く気高く生きる」という価値で扱っている。

研究員 学習指導要領の観点から、3年生がよいと考えた。

A53

会長 採択してよろしいか。

採決 <賛成多数により、東京書籍の教科用図書を選定>

会長 承認いただける方は拍手をお願いします。

委員 全員拍手

中学校用教科用図書の選定が終了したので、選定結果を確認する。

【国語】 光村図書出版

【書写】	東京書籍
【地理】	東京書籍
【地図】	帝国書院
【歴史】	東京書籍
【公民】	東京書籍
【数学】	大日本図書
【理科】	東京書籍
【音楽一般】	教育芸術社
【音楽器楽】	教育芸術社
【美術】	日本文教出版
【保健体育】	東京書籍
【技術】	東京書籍
【家庭】	東京書籍
【英語】	東京書籍
【道徳】	東京書籍

以上を、令和3年度使用中学校用教科用図書の採択原案とする。

(2) 令和3年度使用小学校用教科用図書の提案及び採決

・事務局より、次のとおり提案。

- ① 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定により、採択事務を行う。現在使用している小学校の教科書に、不都合や採択に公正を欠くなどの報告及びご意見はなかった。よって、来年度も今年度と同一の教科書を採択する。
- ② 「令和3年度使用小・中学校用教科用図書一覧」に、本日選定いただいた中学校用教科書を加え、東濃採択地区協議会の採択原案とする。

<全員一致により、事務局提案を可決>

(3) 一般図書について

・事務局より、次のとおり提案。

- ① 特別支援学級においては、原則今回採択された教科書を使用する。学校教育法附則第9条では、児童生徒の障害の種類・程度，能力・特性等に応じた図書を採択することができるので、岐阜県教育委員会において作成された一般図書選定資料を参考にさせていただく。

<承認>

5 諸連絡

- ・今後、各市教育委員会において、採択原案を基に採択の議決を進めていただく。
- ・東濃地区の採択は、5市の教育委員会の議決が全て終了した時点となる。
- ・情報公開の9月1日までは、情報の保持及び公正確保に引き続き十分留意願いたい。
- ・地区協議会関係文書の情報公開については、恵那市教育委員会を窓口とする。

6 東濃採択地区協議会副会長 あいさつ

- ・委員の皆様の積極的な審議により、円滑に本協議会を実施することができた。
- ・協議会委員という責任ある役割をお務めいただいたことに感謝申し上げます。